

会 議 録

◇詳細—企画調整グループ 電話03-3981-4201

附属機関又は 会議体の名称	平成 23 年度 政策経営会議（第 11 回）	
事務局(担当課)	政策経営部企画課	
開催日時	平成 23 年 8 月 31 日（水） 午後 2 時 30 分～3 時 30 分	
開催場所	区長応接室	
議題	1. 平成 23 年度豊島区補正予算（案）について	
公開の 可否	会議	<input type="checkbox"/> 公開 <input checked="" type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由 豊島区行政情報公開条例第 7 条各号に掲げる非公開情報に該当する事項につ いて審議等を行うため。
	会議録	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
出席者	委員	区長・副区長・教育長・政策経営部長・総務部長・施設管理部長・ 企画課長・財政課長・行政経営課長・区長室長
	説明者	財政課長、財政担当係長、防災課長、危機管理担当課長、広報課長、学校運営 課長、教育指導課長
	事務局	企画課企画担当係長

審議経過

案件 1：平成 23 年度豊島区補正予算（案）について

（1）案件の説明

一般会計補正予算（第 3 号）835,220 千円、債務負担行為の補正 1 件、後期高齢者医療事業会計補正予算（第 1 号）286,627 千円、介護保険事業会計補正予算（第 1 号）299,635 千円を第三回定例会に提案したい。

また、地域における初期消火活動をさらに高めるため、木造住宅密集地域内の公園及び児童遊園に、簡易水道消火装置を設置したい。さらに、災害発生時における情報伝達、情報提供は重要な課題であり、池袋駅及び駅周辺における災害時の情報提供のあり方を検討するため、総合的な防災情報基盤整備の一環として、調査・研究を行いたい。

（2）主な意見と質疑

説明者：簡易水道消火装置は、水道水を使用して、女性や子どもでも簡単に初期消火を行うことができる設備である。セーフコミュニティのモデル地域である上池袋、池袋本町地域の公園あるいは児童遊園に設置を試み、防災訓練等を行う際に活用するなどモデル的に区内での導入について進めていきたい。

区 長：場所はどういったところを考えているのか。

説明者：火災危険度の高い地域にある公園あるいは児童遊園を予定している。

区 長：計画的に進めてもらいたい。地域の方に認識をもってもらって、防災力の向上、初期消火にも効果があり、大いに宣伝してもらい、セーフコミュニティの一翼を担ってもらいたい。

委 員：地域の方々の意見とかを受け止めてから導入を検討してはどうかという考えもあった。

区 長：防災に関する意識を高めるチャンスであり、タイミングが大事である。

説明者：防災情報基盤整備検討経費についてであるが、災害時の情報提供を、今あるものを使って、どのように効率的、効果的に行っていくことができるのかを調査委託し、池袋駅周辺混乱防止対策計画に盛り込んでいくというものである。池袋の駅の柱等日頃は広告として利用しているものを、緊急時にきりかえて防災情報を提供するなど、帰宅困難者等に対する情報提供のあり方等について活用の方策を具体的につめていくものであり、今回の補正予算に計上したい。

委 員：帰宅困難者対応については、他の案件で、情報提供ステーションとしても入っている。

区 長：区民の意識が防災に向いている今がタイミング的にはいいのではないかな。できるだけ区民の目に見えるものをおきたい。

副区長：情報提供ステーションは区民には見えるのか。

説明者：情報提供ステーションは駅前の広場などに災害時に仮設するもので、日ごろは見えない。デジタルサイネージは駅の通路の中なので区民に見えるものである。

説明者：普段は広告として使用し、災害時に情報を提供するというのであれば、企業としても充分検討してもらえないのではないかと考えている。

委 員：今回、学校 I C T の関係の整備をするということで、大学等と連携した実証研究活動が

補正予算に計上されており、先駆的なものでもあり担当課長より説明してもらいたい。

説明者：千川中学校において、タブレット型のパソコンを活用した実証研究活動を実施するための環境整備を行うものである。日本マイクロソフト社からの提案があり、東京大学とも連携して、授業でタブレット型パソコンを活用し、その実証研究を行う。

区 長：タブレット型パソコンを無償で提供されるのか。

説明者：日本マイクロソフト社の社会貢献活動の一環であり、レノボ社から無償で提供される。

区 長：何らかのメリットがあるということか。

説明者：いわゆる電子教科書が整備されれば、爆発的に需要が増える可能性がある。それを形にしたいということで、教育委員会とタイアップしたものである。

教育長：年度の途中に、情報管理課を通じて受け入れ態勢をとれるところはないかということで検討してきたものである。

(3) 結論

平成 23 年度 豊島区補正予算（案）を第三回定例会に提案する。

また、併せて、木造住宅密集地域内の公園及び児童遊園への簡易水道消火装置の設置経費及び池袋駅及び駅周辺における災害時の情報提供のあり方を検討するための調査・研究経費の補正予算を計上する。

会議の結果	1. 平成 23 年度豊島区補正予算（案）について ⇒決定
提出された資料等	1. 平成 23 年度豊島区補正予算（案） 平成 23 年度豊島区補正予算（案）説明用資料